

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年1月17日（月）

2 確認箇所

5・6号機サブドレン集水設備（1～4号機周辺防護区域内）

3 確認項目

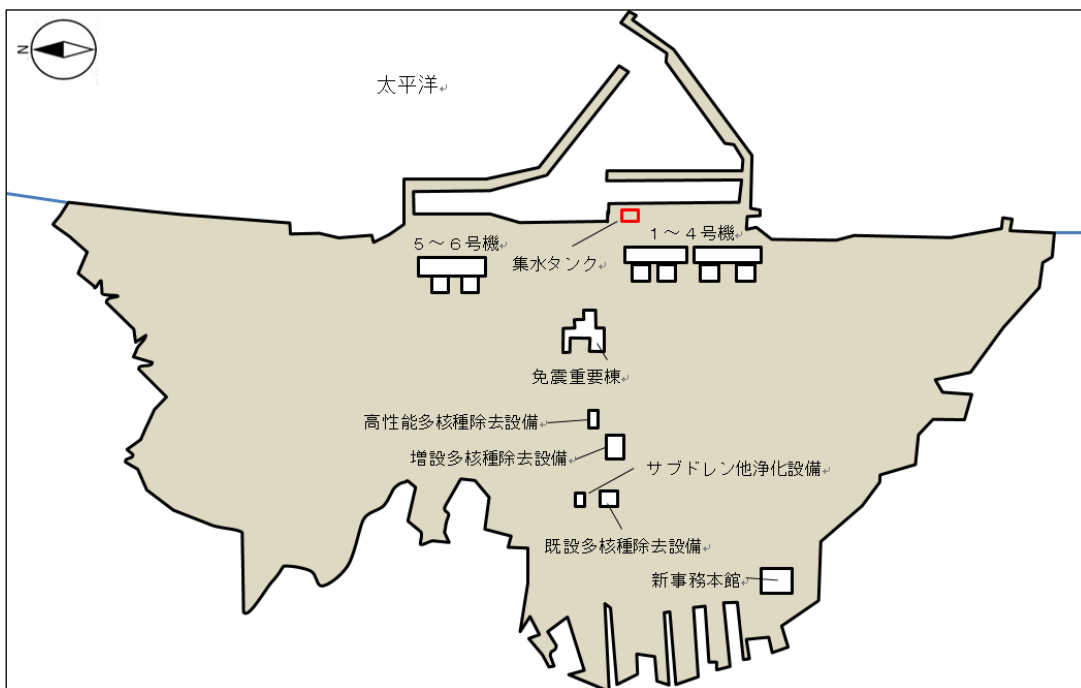
5・6号機サブドレン集水設備復旧工事の状況

4 確認結果の概要

5・6号機建屋への地下水流入を抑制し、重要設備が設置されている電気品室の浸水リスクの低減を図るため、東京電力では、東日本大震災以降、稼働を停止している同建屋周辺のサブドレン集水設備を復旧し、集水した地下水を現在運用中の1～4号機サブドレン集水設備に移送し、併せて処理を行う計画[※]としていることから、1～4号機建屋側で進められているサブドレン集水タンク（以下「集水タンク」という。）への移送配管の敷設状況を確認した。（図1）

- ・5・6号機サブドレン集水設備の移送配管は、1号機建屋東側に設置された集水タンク堰内まで敷設が完了していたが、集水タンクへは未接続であった。（写真1）
- ・現場確認時、作業は行われていなかったが、集水タンクとの接続部付近はロープにより立入禁止措置が講じられ、移送配管には保温材の取り付けが進められていた。（写真2）
- ・管路の一部において移送配管サポートの設置工事が行われていた。（写真3）

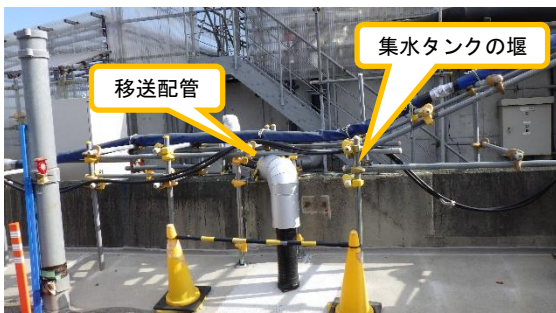
※ 東京電力によれば、5・6号サブドレン設備により汲み上げる地下水量は200～300m³/日程度であり、これを加えても処理を行うサブドレン他浄化設備の処理能力の範囲内にあり、一体としての運用が可能であるとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
集水タンクの設置状況
(南西側から撮影)



(写真1-2)
移送配管の敷設状況



(写真2)
集水タンクへの接続部付近の移送配管の状況



(写真3-1)
移送配管の敷設状況



(写真3-2)
移送配管サポートの設置作業の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。